平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（様式１）

各種大会補助事業

会計名	款	項	目	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	6	2	生涯学習部	スポーツ課	指導係

PLAN（計画）

A 事業概要

項目		内容
総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実
目的		全国及び県レベルの大会を本市に誘致することで、競技者の拡大や青少年の健全な育成、競技力向上及び競技団体の強化を図るとともに、市民が間近に観戦する環境を整え、見るスポーツの促進を図り、市民が多くのスポーツに触れる機会を作る。
主たる内容		全国及び県レベルの大会で市内のスポーツ施設を利用する大会に対し、大会開催の使用料相当額を補助する。
位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン
	根拠法令	
対象者		刈谷市体育協会へ関連する競技団体
事業期間		～
実施方法		□直営　□委託　□指定管理　■補助・助成　□その他

DO（実施）

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
8団体に補助	日本女子ソフトボールリーグを始めとする18の大会に補助を実施した。	日本女子ソフトボールリーグを始めとする19の大会に補助を実施した。	日本女子ソフトボールリーグを始めとする19の大会に補助を実施する。

成果（できたこと）
全国レベルの大会を誘致することで、市民がスポーツに触れる機会を創出するとともに、スポーツ活動に参加できるきっかけづくりを行った。また、青少年がスポーツに親しみ、競技力の向上や幅広い交流を行う機会を支援し、青少年の健全育成を図った。

課題（できなかったこと）
多くの競技がある中で12競技の誘致にとどまったため、今後はより一層多くの競技誘致の検討が必要である。

指標名称（単位）		実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
活動指標	大会数（大会）	11	18	19	19	22
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円		２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①		4,230	4,952	6,839	8,083
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,230	4,952	6,839	8,083
職員人件費　②		1,077	1,768	1,753	1,832
総事業費（①+②）		5,307	6,720	8,592	9,915

２５年度事業費内訳

項目	金額
合計	6,838,900 円
負担金、補助及び交付金	6,838,900 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式２）

会計名			各種大会補助事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	指導係
10	6	2			

CHECK＜評価＞ / D 内部評価

各視点からの評価			評価の理由
必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である　など	高い	市民が、主体的にスポーツに親しむきっかけとなり、生涯スポーツ社会の実現に向け、必要な事業であると考えられる。
効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性　など	普通	本市の有料施設使用料相当額分を補助するものであるが、使用料は市の歳入となり相殺される。効果としては、市民のスポーツに触れる機会が増え、みるスポーツの促進が図られる。
妥当性	・市が主体となって実施するべき事業であるか ・総合計画との整合性　など	高い	スポーツの重要性を再認識してもらい、市民のスポーツ活動への動機づけを行うことで、本市のスポーツ活動の推進が図られ、市が主体となり積極的に推進する事業であると考えられる。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果　など	高い	第2次刈谷市スポーツマスタープランに掲げる「豊かなスポーツライフの実現」に向け、みるスポーツ等の観点から、市民がスポーツを楽しむことができる環境づくりに貢献している。

今後の方向性	□拡充　■現状維持　□改善・効率化　□縮小　□終期設定　□休止・廃止

スポーツに対する市民ニーズが多様化している中、市民がさまざまなスポーツに触れる機会を設け、競技の普及、競技人口の拡大、競技レベルの向上等を目指すとともに、スポーツを楽しむことができる環境を整えることで、生涯スポーツの推進が図られる。重要な事業であり、今後も継続する必要がある事業と考えられる。

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	スポーツリーダー養成講座事業	担当部	生涯学習部
一般会計		担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 2		担当係	普及係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ指導者の育成

目的	主たる内容
高齢化社会の進展、余暇時間の増大等に伴い、生涯スポーツ活動を推進するため、その推進役となるリーダーを育成し、市民スポーツ活動の活性化、継続化を図る。	専門知識、実績のある講師を迎え、科学的アプローチに基づいた講義及び実技指導を行う。

位置づけ：関連計画	
位置づけ：根拠法令	
対象者	市民
事業期間	平成７年度　～
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他

DO（実施）

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
・トレーニング論 ・バイオメカニクス論 ・戦術論	・オリンピックを考える ・ロンドンオリンピック紀行 ・トレーニング実践	・心理学から考える指導方法 ・効果、効率を考えたトレーニング ・テーピング	・栄養学 ・ストレッチ

成果（できたこと）	日々進歩する専門知識や最新のスポーツ科学を取り入れた研修機会を継続的に提供することにより、優れた指導者の育成と確保ができた。
課題（できなかったこと）	養成したリーダーを活用するシステムは、生涯学習指導者名簿等への掲載のみであり、より一層の充実が求められる。

指標名称（単位）		実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
活動指標	スポーツリーダー養成講座修了者数（人）	15	14	29	30	―
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	124	35	149	147
財源：特定財源	0	0	0	0
財源：一般財源	124	35	149	147
職員人件費　②	718	707	701	733
総事業費（①＋②）	842	742	850	880

２５年度事業費内訳

合計	149,417 円
報償費	69,500 円
需用費	79,917 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式２）

会計名	事業名	担当部	生涯学習部
一般会計	スポーツリーダー養成講座事業	担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 2		担当係	普及係

CHECK＜評価＞ D 内部評価

各視点からの評価			評価の理由
必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である　など	普通	市民がスポーツを継続するためには、だれもが気軽に参加できるスポーツプログラムとそれを適切に指導する指導者が必要である。
効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性　など	高い	愛知教育大学と協働して、講座のメニュー作りから指導まで一環して行い、官学連携したスポーツ推進に努めている。
妥当性	・市が主体となって実施するべき事業であるか ・総合計画との整合性　など	普通	市民がスポーツ活動をはじめ、継続できるよう、指導者の育成に努める。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果　など	高い	スポーツマスタープラン基本施策として推進を図っている。

今後の方向性：□拡充　□現状維持　■改善・効率化　□縮小　□終期設定　□休止・廃止

市民のスポーツ活動が多様化、高度化し、指導者へのニーズも質･量ともに増大しています。指導者には、豊かな人間性、競技の専門性、スポーツ環境や条件の管理能力などが求められます。また、技術指導だけでなく、スポーツの多様な楽しみ方の指導など、幅広いマネージメントができる指導者の育成に努めます。

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	スポーツ教室開催事業	担当部	生涯学習部
一般会計		担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 2		担当係	普及係

スポーツ教室開催事業

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	教育文化
基本施策	スポーツ
施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実

目的	主たる内容
現在スポーツをしていない市民に対して、スポーツへの動機づけと健康増進を図る。 また、子どもの体力向上、女性の社会参加、高齢者の体力向上を目指す。	各種スポーツ教室を1週間に3日、幅広い年齢層と時間帯で開催し、産官学連携したスポーツ推進に努める。 また、自主運営が可能な競技連盟については、各競技連盟へスポーツ教室を移行し、開催運営費を補助する。

位置づけ	
関連計画	スポーツ基本計画（国）、第2次刈谷市スポーツマスタープラン
根拠法令	スポーツ基本法

対象者	市民	事業期間	～
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO（実施）

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
全11教室（参加者1,068人） ・ウィングアリーナ刈谷コース 9教室（参加者920人） ・刈谷市体育館コース 2教室（参加者148人）	市主催10教室（定員1,215人） ・ウィングアリーナ刈谷コース 8教室（定員1,065人） ・刈谷市体育館コース 2教室（定員150人） 連盟主催3教室 ・ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ　2教室（3年目） ・卓球　1教室（1年目）	市主催8教室（定員1,065人） 連盟主催2教室 ・卓球　1教室（2年目） ・テニス　1教室（1年目）	市主催9教室（定員1,185人） 連盟主催2教室 ・卓球　1教室（3年目） ・テニス　1教室（2年目）

成果（できたこと）	市民の体力増進、スポーツの知識技能習得及び施設利用マナー向上が図られたほか、子どもの体力向上、女性の社会参加、子育て支援、高齢者のスポーツへの啓発等となる教室を開催することにより、スポーツ活動への参加機会を提供・拡大できた。
課題（できなかったこと）	競技の普及・人口の拡大といった競技団体としての設置目的に照らし、競技の専門性と民間団体としての柔軟性を活かし、競技団体による自主運営が可能となるように、さらに育成に努める必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
成果指標	各種大会、イベント参加者数（人）	14,974	13,711	12,177	13,000	13,000
指標						

他市との比較検証	スポーツ教室は近隣各市で開催されていますが、基本方針、事業主体、種目、規模等異なるため、一概に比較検討することは難しい。

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	5,034	5,270	4,529	4,893
財源　特定財源	3,011	2,847	2,149	3,115
財源　一般財源	2,023	2,423	2,380	1,778
職員人件費　②	2,154	2,476	2,455	2,565
総事業費（①＋②）	7,188	7,746	6,984	7,458

２５年度事業費内訳

合計	4,529,183 円
報償費	3,639,500 円
需用費	80,863 円
役務費	369,820 円
負担金、補助及び交付金	439,000 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

・スポーツ教室参加料

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式２）

<table>
<tr><td>会計名</td><td colspan="2" rowspan="4">スポーツ教室開催事業</td><td>担当部</td><td>生涯学習部</td></tr>
<tr><td>一般会計</td><td>担当課</td><td>スポーツ課</td></tr>
<tr><td>款 10　項 6　目 2</td><td>担当係</td><td>普及係</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="6">CHECK＜評価＞</td><td rowspan="6">D 内部評価</td><td colspan="3">各視点からの評価</td><td>評価の理由</td></tr>
<tr><td>必要性</td><td>・法的業務
・市民ニーズ、社会需要
・市民生活上必要である　など</td><td>普通</td><td>スポーツをはじめるきっかけづくり、女性や高齢者等の健康増進、社会参画、子どもの体力向上に資する教室を主に開催しているため必要な事業である。</td></tr>
<tr><td>効率性</td><td>・コストの節減、費用対効果
・執行体制の効率性
・手段の最適性　など</td><td>高い</td><td>カンガルールームを設置し、子育て中の方にも参加しやすい等の環境を整えた教室の開催。また子ども向けの教室は、愛知教育大学の保健体育講座等に学外学習の一環として学生を、タグラグビー教室は豊田自動織機ラグビー部ＯＢ等を派遣してもらう等、専門性も高めている。</td></tr>
<tr><td>妥当性</td><td>・市が主体となって実施するべき事業であるか
・総合計画との整合性　など</td><td>高い</td><td>市民スポーツの普及振興を目指しているため、市民のスポーツ活動への動機づけ、健康についての理解を深めるため必要な事業である。</td></tr>
<tr><td>施策への貢献度</td><td>・施策への貢献度
・目標達成度
・市民サービスへの効果　など</td><td>高い</td><td>だれもが生涯にわたって、それぞれの体力や年齢、目的に応じ、主体的にスポーツに親しむことの出来る生涯スポーツ社会の実現に貢献している。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td colspan="3">□拡充　□現状維持　■改善・効率化　□縮小　□終期設定　□休止・廃止

市民ニーズが多様化している現在、競技の普及・競技人口の拡大・競技レベルの向上等の観点から、市民団体などが実施主体となる方が望ましい教室・種目もあり、実施目的や果たす役割、民間の動向、実施能力の有無やサービス面も踏まえて、事業の廃止、各競技連盟等への移行をさらに進めていく。</td></tr>
</table>

会計名	総合型地域スポーツクラブ育成事業	担当部	生涯学習部
一般会計		担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 2		担当係	普及係

総合型地域スポーツクラブ育成事業

PLAN（計画）　A 事業概要

項目	内容
総合計画施策体系 分野	教育文化
総合計画施策体系 基本施策	スポーツ
総合計画施策体系 施策の内容	クラブ・団体の育成
目的	地域のスポーツ振興のみならず、スポーツを通じた地域コミュニティの形成、青少年育成、高齢者や障害のある人の社会参画の場としての効果を期待する総合型地域スポーツクラブの育成を図る。
主たる内容	6中学校区にある総合型地域スポーツクラブへの運営補助及びクラブの自立に向けて調査研究を行う。
位置づけ 関連計画	スポーツ基本計画（国）、第2次刈谷市スポーツマスタープラン
位置づけ 根拠法令	スポーツ基本法
対象者	市民
事業期間	平成１６年度　～
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　■補助・助成　□その他

DO（実施）　B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
・総合型地域スポーツクラブ研究会（2ヶ月1回） ・クラブ運営補助（6地区）	・総合型地域スポーツクラブ研究会（2ヶ月1回） ・クラブ運営補助（6地区）	・総合型地域スポーツクラブ研究会（2ヶ月1回） ・クラブ運営補助（6地区）	・総合型地域スポーツクラブ研究会（2ヶ月1回） ・クラブ運営補助（6地区）

成果（できたこと）
平成16年の朝日総合スポーツクラブの設立をきっかけに、依佐美（H17）、刈谷東（H17）、富士松（H18）、雁が音（H18）、刈谷南（H19）総合スポーツクラブが設立し、市内の全6中学校区ですべてのクラブが設立した。

課題（できなかったこと）
今後の課題として、会員の確保、活動拠点の確保、安定的な財源の確保、運営スタッフの充実、組織力の強化があげられる。

指標名称（単位）		実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
活動指標	総合型地域スポーツクラブ加入者数（人）	2,080	2,110	2,031	2,825	4,413
指標						

他市との比較検証
近隣市町のクラブ設立状況
碧南市1クラブ、安城市2クラブ、知立市1クラブ、高浜市1クラブ、東浦町1クラブ

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	3,250	3,250	3,050	2,550
財源 特定財源	0	0	0	0
財源 一般財源	3,250	3,250	3,050	2,550
職員人件費　②	3,230	2,122	2,104	2,565
総事業費（①＋②）	6,480	5,372	5,154	5,115

２５年度 事業費内訳

内訳	金額
合計	3,050,000 円
委託料	250,000 円
負担金、補助及び交付金	2,800,000 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式２）

会計名			総合型地域スポーツクラブ育成事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	6	2			

CHECK＜評価＞ D内部評価

各視点からの評価			評価の理由
必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である　など	高い	地域のスポーツ振興において必要性の高い事業である。
効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性　など	普通	参加者の増加を図るため一層の啓発活動とクラブの活動内容の充実が求められている。
妥当性	・市が主体となって実施するべき事業であるか ・総合計画との整合性　など	高い	地域住民が主体的な運営ができるよう育成支援するために必要な事業である。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果　など	高い	第2次スポーツマスタープランの重点施策として推進を図っている。

今後の方向性	□拡充　■現状維持　□改善・効率化　□縮小　□終期設定　□休止・廃止

　第2次スポーツマスタープランの重点施策として位置づけられた、総合型地域スポーツクラブの育成については、地域のスポーツ振興のみならず、スポーツを通じたコミュニティの形成、青少年の健全育成、高齢者や障害のある人の社会参画の場としてなどの役割が期待されています。
　本市では住民が気軽に参加できる範囲として「地域」を考えた場合中学校区ごとの設立が望ましいと結論づけ全6中学校区に設立しています。
　今後も継続的にクラブの育成に努めるため定期的に研究会を開催していますが、先の行政評価委員会でお示したとおり補助金削減計画（案）に基づき平成25年度より削減を始め、クラブ運営の基本である自主・自立に向けて取組みを進めるとともに、補助金廃止後のクラブ運営の安定的な財源確保の検討を進めます。

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	ウィングアリーナ刈谷等施設整備事業	担当部	生涯学習部
一般会計		担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 3		担当係	業務係

PLAN＜計画＞ A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放
目的	ウィングアリーナ刈谷、ウェーブスタジアム刈谷及びグリーングラウンド刈谷の円滑な管理運営のため必要な整備を行い、施設の適切な運用を図る。	
主たる内容	○陸上競技場第3種公認更新工事 ○設備の修繕及び整備工事	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	施設利用者	
事業期間	平成２１年度　～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO＜実施＞ B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
・ウィングアリーナ刈谷 空調室内機フィン洗浄 ・ウェーブスタジアム刈谷 １Ｆ男子便所改修工事	・ウィングアリーナ刈谷 防球ネットワイヤー取替	・ウィングアリーナ刈谷 プール更衣室前扉設置工事 ・ウェーブスタジアム刈谷 第3種公認更新工事 空調更新工事 自動ドア修繕 高圧受電設備改修工事	・ウェーブスタジアム刈谷 電話設備更新工事 観客席取替工事 ・グリーングラウンド刈谷 天然芝張替修繕

成果（できたこと）	計画通り整備できた。
課題（できなかったこと）	今後、施設が老朽化してくるので計画的に実施しなければならない。

	指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
成果指標	ウィングアリーナ刈谷使用者数（人）	312,462	313,083	336,550	339,915	346,747
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	1,265	14,140	62,944	36,000
財源 特定財源	0	0	4,800	0
財源 一般財源	1,265	14,140	58,144	36,000
職員人件費　②	1,795	1,768	1,753	1,832
総事業費（①＋②）	3,060	15,908	64,697	37,832

２５年度事業費内訳

合計	62,943,510 円
需用費	3,725,610 円
委託料	1,999,200 円
工事請負費	57,218,700 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称：スポーツ振興くじ助成金

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　　（様式２）

会計名			ウィングアリーナ刈谷等施設整備事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	6	3			

CHECK＜評価＞ D内部評価

各視点からの評価			評価の理由
必要性	・法的業務 ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要である　など	高い	市民が利用できる施設の拡充に必要な事業である。
効率性	・コストの節減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性　など	普通	計画的な経費の執行が必要である。
妥当性	・市が主体となって実施するべき事業であるか ・総合計画との整合性　など	高い	市民がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを推進する事業であり、市の主体的な関与が必要である。
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果　など	高い	スポーツ施設の計画的な整備に寄与している。

今後の方向性：□拡充　■現状維持　□改善・効率化　□縮小　□終期設定　□休止・廃止

施設が存続する限り計画的な施設整備が必要である。

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	刈谷市体育協会補助事業	担当部	生涯学習部
一般会計		担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 2		担当係	指導係

PLAN＜計画＞

A 事業概要

項目		内容
総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	クラブ・団体の育成
目的		本市における体育・スポーツ団体を統括するとともに、市民スポーツの普及振興を図り、市民の健全な心身の発展に寄与することを目的に活動する刈谷市体育協会に対し補助を行う。
主たる内容		・市民のスポーツ活動の向上等に関する調査研究 ・スポーツ団体の育成・強化 ・スポーツ団体への情報提供 ・スポーツ大会等の実施 ・体育施設の充実等についての指導及び助言 ・その他目的の達成に必要な事業の実施
位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン
	根拠法令	
対象者		刈谷市体育協会加盟団体
事業期間		昭和３４年度　～
実施方法		□直営　□委託　□指定管理　■補助・助成　□その他

DO＜実施＞

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
・刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等	・刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等	・刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 ・協会組織の強化を図るための調査、研究	・刈谷市長杯総合体育大会、国民体育大会選手壮行会の開催等 ・協会組織の強化を図るための調査、研究

項目	内容
成果（できたこと）	各種事業を実施し、市民スポーツの普及振興を図るとともに、ジュニア育成事業の一層の推進を図り、本市の将来を担う競技者の育成に努めた。
課題（できなかったこと）	本市における体育・スポーツ団体の中心的な組織として、協会の更なる組織力の強化が必要である。

	指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
活動指標	加盟人数（人）	12,454	12,245	12,435	13,000	13,500
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①		4,550	4,550	5,550	4,550
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,550	4,550	5,550	4,550
職員人件費　②		6,102	5,659	5,611	5,862
総事業費（①＋②）		10,652	10,209	11,161	10,412

２５年度事業費内訳

合計	5,550,000 円
負担金、補助及び交付金	5,550,000 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

刈谷市レクリエーション協会補助事業

会計名	款	項	目	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	6	2	生涯学習部	スポーツ課	指導係

PLAN＜計画＞

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	クラブ・団体の育成
目的		市民の健康と文化の向上並びに健全なスポーツ・レクリエーション活動の実施、普及を目的とし活動する刈谷市レクリエーション協会に対し補助を実施する。
主たる内容		市内のスポーツ・レクリエーション団体を束ね、各団体の指導育成、各種大会の開催及び指導者養成などの事業を実施する。
位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン
	根拠法令	
対象者		刈谷市レクリエーション協会加盟団体
事業期間		昭和２２年度　～
実施方法		□直営　□委託　□指定管理　■補助・助成　□その他

DO＜実施＞

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
・刈谷市民盆踊り大会の実施（雨天中止） ・加盟団体委託事業の実施 21事業	・刈谷市民盆踊り大会の実施 ・加盟団体委託事業の実施 21事業	・刈谷市民盆踊り大会の実施 ・加盟団体委託事業の実施 21事業	・刈谷市民盆踊り大会の実施 ・加盟団体委託事業の実施 21事業

成果（できたこと）
各種事業を実施し、市民の健康と文化向上並びに健全なスポーツ・レクリエーション活動の実施及び普及を図るとともに、加盟団体の支援・育成に努めた。

課題（できなかったこと）
市内のスポーツ・レクリエーションの更なる普及・振興を図るため、協会所属団体が主体性を持って継続的、組織的、計画的に活動を行うことができるよう支援する仕組み作りを行うことが必要である。

	指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
活動指標	加盟人数（人）	2,218	2,170	1,700	1,750	1,800
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	1,920	1,920	1,920	1,920
財源 特定財源	0	0	0	0
財源 一般財源	1,920	1,920	1,920	1,920
職員人件費　②	4,307	5,659	5,611	5,129
総事業費（①＋②）	6,227	7,579	7,531	7,049

２５年度事業費内訳
合計　1,920,000 円
負担金、補助及び交付金　1,920,000 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

会計名	スポーツ推進委員事業		担当部	生涯学習部
一般会計			担当課	スポーツ課
款 10	項 6	目 2	担当係	普及係

PLAN＜計画＞　A事業概要

項目		内容
総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ指導者の育成
目的		地域のスポーツ推進のために活動するスポーツ推進委員の支援を行う。
主たる内容		市民の要望に応じた実技指導 学校、公民館等の教育機関その他行政機関が行うスポーツ行事又は事業への協力 各種大会及び研修会等への出席と開催
位置づけ	関連計画	第2次刈谷市スポーツマスタープラン
	根拠法令	スポーツ基本法
対象者		スポーツ推進委員
事業期間		昭和３７年度　～
実施方法		■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他

DO＜実施＞　B事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
総合型地域スポーツクラブの育成、かきつばたマラソン大会の運営協力、体指だより発行（チャレンジ50）、ＧＯＧＯウォーキング（実行委員会）、スポーツふれあいｄａｙの開催、派遣事業（地域等へニュースポーツ紹介）	総合型地域スポーツクラブの育成、かきつばたマラソン大会の運営協力、体指だより発行（チャレンジ50）、ＧＯＧＯウォーキング（実行委員会）、スポーツふれあいｄａｙの開催、派遣事業（地域等へニュースポーツ紹介）、西三河地区スポーツ推進委員実技研修会開催	総合型地域スポーツクラブの育成、かきつばたマラソン大会の運営協力、スポーツ推進委員だより発行（チャレンジ50）、ＧＯＧＯウォーキング（実行委員会）、スポーツふれあいｄａｙの開催、派遣事業（地域等へニュースポーツ紹介）	総合型地域スポーツクラブの育成、かきつばたマラソン大会の運営協力、スポーツ推進委員だより発行（チャレンジ50）、ＧＯＧＯウォーキング（実行委員会）、スポーツふれあいｄａｙの開催、派遣事業（地域等へニュースポーツ紹介）

項目	内容
成果（できたこと）	地域のスポーツコーディネーターとして、スポーツの推進に努めた。
課題（できなかったこと）	スポーツ推進委員の資質の向上と技能の習得を図るとともに地域のスポーツ振興策の充実を図る。

指標名称（単位）		実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
指標						
指標						

他市との比較検証	

C事業コスト

単位：千円		２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①		448	499	476	660
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	448	499	476	660
職員人件費　②		3,589	2,476	2,455	2,931
総事業費（①＋②）		4,037	2,975	2,931	3,591

２５年度事業費内訳

区分	金額
合計	476,381 円
旅費	126,120 円
需用費	210,592 円
役務費	92,830 円
委託料	9,039 円
負担金、補助及び交付金	37,800 円

建設事業		２５年度特定財源名称
全体事業費（単位：千円）	0	
２５年度迄の累積事業費	0	
２７年度以降の事業費見込	0	

各種大会開催事業

会計名	款	項	目	担当部	担当課	担当係
一般会計	10	6	2	生涯学習部	スポーツ課	普及係

PLAN＜計画＞

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実
目的	各種目毎に参加者相互の情報交換と交流を深めるとともに、スポーツの普及振興に寄与するため大会を開催する。	
主たる内容	各種大会を開催するにあたり、専門の知識と実績のある団体等に事業を委託する。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	市民	
事業期間	～	
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO＜実施＞

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
とうちゃんソフトボール1,800人、一万人卓球650人、インディアカ211人、ソフトバレーボール179人、ミニテニス102人 ユニホッケー69人、ＧＯＧＯウォーキング183人 合計3,194人	一万人卓球764人、インディアカ251人、ソフトバレーボール166人、ミニテニス166人、ユニホッケー67人、ＧＯＧＯウォーキング108人 合計1,522人	一万人卓球659人、 ソフトバレーボール180人、 ミニテニス150人、 ユニホッケー104人、 ＧＯＧＯウォーキング91人 合計1,184人	一万人卓球 ソフトバレーボール ミニテニス ユニホッケー ＧＯＧＯウォーキング

成果（できたこと）	市民が気軽に参加できる大会を開催することにより、選手間の交流が深められた。
課題（できなかったこと）	競技団体による自主的な大会開催への移行を促進させることが課題である。

	指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
活動指標	各種大会、イベント参加者数（人）	14,974	13,711	12,177	13,000	―
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①		915	721	595	583
財源	特定財源	271	217	175	255
	一般財源	644	504	420	328
職員人件費　②		1,077	1,415	1,403	1,466
総事業費（①＋②）		1,992	2,136	1,998	2,049

２５年度 事業費内訳

合計	595,200 円
役務費	59,200 円
委託料	536,000 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称
・大会参加料
・保険料実費徴収金

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名			ニュースポーツ普及事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	6	2			

PLAN＜計画＞

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実

目的	主たる内容
生涯スポーツの振興にあたり、市民が手軽に楽しめる環境づくりを推進するため、ニュースポーツを広く紹介する。	刈谷市スポーツ推進委員協議会に委託し、スポーツふれあいｄａｙを開催する。

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	市民	事業期間	～
実施方法	□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他		

DO＜実施＞

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
スポーツふれあいｄａｙ開催 参加人員：177人 種　　目：キンボール、ミニテニス、ペタボード、フットサル、ユニホッケー、インディアカ	スポーツふれあいｄａｙ開催 参加人員：331人 種　　目：ミニテニス、キンボール、ディスクドッヂ、チャンスペタ	スポーツふれあいｄａｙ開催 参加人員：208人 種　　目：ディスクドッヂ、チャンスペタ、キンボール	スポーツふれあいｄａｙ開催 種　　目：ディスクドッヂ、チャンスペタ、キンボール、ペタンクなど

成果（できたこと）	世代や性別に関係なく、だれもが取り組むことができるニュースポーツの普及が進んできた。
課題（できなかったこと）	スポーツをしてない人たちが、スポーツに対して興味・関心を持ち、スポーツ活動に参加できるように啓発に努める。

指標名称（単位）		実績値			目標値	
		２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２８年度
指標						
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①		250	250	200	200
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	250	250	200	200
職員人件費　②		718	707	701	733
総事業費（①＋②）		968	957	901	933

２５年度事業費内訳	
合計	200,000 円
委託料	200,000 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２５年度特定財源名称
２５年度迄の累積事業費	0	
２７年度以降の事業費見込	0	

会計名	かきつばたマラソン大会開催事業	担当部	生涯学習部
一般会計		担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 2		担当係	指導係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実
目的	マラソン競技者の拡大及び市民のスポーツ競技の参加意欲の増進を図り、体力づくりと健康増進、生涯スポーツの振興を図る。	
主たる内容	年齢別男女別の1.5、3、10ｋｍのマラソンコースと誰でも気軽に参加できるジョギングコースを設定し、市民マラソン大会を開催する。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	対象者を限定せず	
事業期間	昭和４８年度　～	
実施方法	□直営　□委託　□指定管理　■補助・助成　□その他	

DO（実施）

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
ウェーブスタジアムを発着点に開催。2.3、3、10ｋｍ、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催	ウェーブスタジアムを発着点に開催。2.3、3、10ｋｍ、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催	ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10ｋｍ、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、1,569人の参加者があった。	ウェーブスタジアムを発着点に開催。1.5、3、10ｋｍ、ジョギング男女別、年齢別の9部門で開催し、2,000人の参加者を見込む。

成果（できたこと）
ジョギング及びランニングブームの中、気軽に参加できるスポーツイベントとして定着しているとともに本市のスポーツ振興の一翼を担っている。

課題（できなかったこと）
開催時期の変更を行ったため気象、走路コンディションにおいては安全性の向上が図られたが、他の大会時期と重なることもあり、年々参加者が減少している。事前の広報などＰＲを図り、参加者の増加に努める。

指標名称（単位）		実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
活動指標	参加者数（人）	1,640	1,619	1,569	2,000	―
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	1,500	2,175	1,830	2,267
財源　特定財源	0	0	0	0
財源　一般財源	1,500	2,175	1,830	2,267
職員人件費　②	5,743	5,659	5,611	5,862
総事業費（①＋②）	7,243	7,834	7,441	8,129

２５年度事業費内訳

合計	1,829,906 円
原材料費	213,906 円
負担金、補助及び交付金	1,616,000 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

会計名	事業名	担当部	生涯学習部
一般会計	愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝選手派遣事業	担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 2		担当係	指導係

PLAN（計画）

A 事業概要

項目		内容
総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実
目的		愛知万博メモリアル愛知県市町村対抗駅伝競走大会に刈谷市代表選手を派遣し、市民にＰＲすることで、競技の普及を図るとともに、刈谷市を含めた愛知県内の市町村スポーツ振興に寄与する。
主たる内容		愛知県が後援している愛知県陸上競技協会及び東海テレビ放送が開催する大会に刈谷市より選手を派遣する事業を実行委員会に委託する。
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者		選抜選手並びに実行委員
事業期間		平成１８年度　～
実施方法		□直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他

DO（実施）

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
総合順位　第8位	総合順位　第8位	各部門2名計18名の選手を選出し、数回の合同練習会を経て大会に参加した。 総合順位　第7位入賞	各部門2名計22名の選手を選出し、数回の合同練習会を予定する。 目標総合順位　第7位入賞

項目	内容
成果（できたこと）	大会を通じて愛知万博を次世代へ継承するとともに、競技者育成、市町村相互の交流及びスポーツ振興を図ることができた。
課題（できなかったこと）	世代ごとの選手選考及び発掘が課題である。また、刈谷市としてどのような目的で大会に参加するのかを明確にする。

指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	250	390	250	250
財源 特定財源	0	0	0	0
財源 一般財源	250	390	250	250
職員人件費　②	3, 230	1, 415	1, 403	2, 198
総事業費（①+②）	3, 480	1, 805	1, 653	2, 448

２５年度事業費内訳	
合計	250, 000 円
委託料	250, 000 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	プロ野球オープン戦開催事業	担当部	生涯学習部
一般会計		担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 2		担当係	業務係

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	
分野	教育文化
基本施策	スポーツ
施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実

目的	主たる内容
地元球団、中日ドラゴンズのオープン戦を誘致し、市民にプロの試合を身近に観戦する機会を提供することにより、スポーツへの関心を高めスポーツ振興を図る	開催予定時期：平城26年3月上中旬 開催場所：刈谷球場 主催：㈱中日新聞社、㈱中日ﾄﾞﾗｺﾞﾝｽﾞ 共催：刈谷市 実績　平成23年3月8日（火）実施 VS東京ﾔｸﾙﾄｽﾜﾛｰｽﾞ（6,350人） 平成21年3月10日（火）実施 VS埼玉西武ﾗｲｵﾝｽﾞ（4,928人）

位置づけ	
関連計画	
根拠法令	

対象者	市民	事業期間	～

実施方法：■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他

DO（実施）

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
――――	――――	開催日：平城26年3月5日 中日ドラゴンズ×西武ライオンズ 雨天中止	――――

成果（できたこと）	
課題（できなかったこと）	

指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	0	0	3,058	0
財源 特定財源	0	0	0	0
財源 一般財源	0	0	3,058	0
職員人件費　②	0	0	491	0
総事業費（①＋②）	0	0	3,549	0

２５年度事業費内訳

項目	金額
合計	3,057,824 円
報償費	30,000 円
需用費	319,724 円
委託料	2,699,300 円
使用料及び賃借料	8,800 円

建設事業		２５年度特定財源名称
全体事業費（単位：千円）	0	
２５年度迄の累積事業費	0	
２７年度以降の事業費見込	0	

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	事業名	担当部	生涯学習部
一般会計	各種大会出場選手激励事業	担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 2		担当係	指導係

PLAN＜計画＞

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実
目的	各競技団体などが主催する全国大会等に、刈谷市から出場する選手に対して激励金を交付することにより、選手を激励するとともに、各競技の技術向上を図り、社会体育全体の普及振興に資することを目的とする。	
主たる内容	国際大会、全国大会、愛知スポーツレクリエーションフェスティバル等に出場する選手を激励し、補助を行う。	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	全国大会出場届提出者	
事業期間	～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO＜実施＞

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
637人/1,775,500円	667人/1,812,500円	646人/2,317,500円	688人/2,700,000円

成果（できたこと）

各種大会出場選手への激励並びに補助を行い、スポーツ振興と競技力向上に努めるとともに。全国大会等出場選手の把握に努めることができた。

課題（できなかったこと）

各種大会出場選手に対し、旅費一部補助という形で実施しているが、大会規模または予選規模などを勘案し、激励金の交付基準も検討する必要がある。

	指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
活動指標	交付人数（人）	637	667	646	688	700
指標						

他市との比較検証

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	1,776	1,925	2,318	2,700
財源　特定財源	0	0	0	0
財源　一般財源	1,776	1,925	2,318	2,700
職員人件費　②	2,512	2,476	2,455	2,565
総事業費（①＋②）	4,288	4,401	4,773	5,265

２５年度事業費内訳

合計	2,317,500 円
報償費	2,317,500 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　　（様式１）

会計名	スポーツマスタープラン改定事業	担当部	生涯学習部
一般会計		担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 2		担当係	普及係

PLAN＜計画＞　A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ活動プログラムの充実

目的	主たる内容
現行の「第二次スポーツマスタープラン」は、平成21年度からの10年間の計画ですが、進捗状況、社会情勢の変化等に対応するため、見直しを行なう。	アンケートの実施と集計、分析を行い、それに基づき今後のスポーツ振興を具体化させるスポーツマスタープランの改定を行う。

位置づけ　関連計画	
位置づけ　根拠法令	
対象者	
事業期間	平成２５年度　～　平成２５年度
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他

DO＜実施＞　B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
――――	――――	第2次刈谷市スポーツマスタープランは、平成21年度から30年度までの10カ年を計画期間としており、施策、事業の進捗状況、市民ニーズや社会情勢の変化を柔軟に対応するため、策定年度から5年後の平成25年度に見直しを行った。	――――

成果（できたこと）	国の「スポーツ基本計画」及び県の「いきいきあいち　スポーツプラン」を受け、市の政策指針である「第7次刈谷市総合計画」と生涯学習の基本指針である「第2次刈谷市生涯学習推進計画」との整合を図り、現行プランの進捗状況及び社会情勢を踏まえて、刈谷市のスポーツ振興に関する基本的・総合的な計画の見直しができた。
課題（できなかったこと）	第2次スポーツマスタープランの実行にあたっては、活動プログラムの充実、クラブ・団体の育成、施設の整備・充実・開放、指導者・リーダーの育成、情報の提供が必要と考えられる。

指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	0	0	1,995	0
財源　特定財源	0	0	0	0
財源　一般財源	0	0	1,995	0
職員人件費　②	0	0	1,403	0
総事業費（①＋②）	0	0	3,398	0

２５年度事業費内訳	
合計	1,995,000 円
委託料	1,995,000 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

会計名	ウィングアリーナ刈谷等施設管理事業	担当部	生涯学習部
一般会計		担当課	スポーツ課
款 10 項 6 目 3		担当係	業務係

Ｐ Ｌ Ａ Ｎ ＜計画＞

Ａ 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放
目的	ウィングアリーナ刈谷、ウェーブスタジアム刈谷及びグリーングラウンド刈谷の管理及び運営を指定管理者に行わせることにより住民サービスの向上と経費削減を図る。	
主たる内容	・体育施設の管理、運営 ・体育施設の利用受付 ・自主事業の開催	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	地方自治法、刈谷市体育施設条例
対象者	施設利用者	事業期間：平成１９年度　～
実施方法	□直営　■委託　■指定管理　□補助・助成　□その他	

Ｄ Ｏ ＜実施＞

Ｂ 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
指定管理者による管理運営	指定管理者による管理運営	指定管理者による管理運営	指定管理者による管理運営

成果（できたこと）：効率的な管理運営が行われている。市では開催が難しい自主事業が実施された。

課題（できなかったこと）：

指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
指標					
指標					

他市との比較検証：

Ｃ 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	252,067	244,909	250,846	270,527
財源 特定財源	29,672	34,540	37,624	32,070
財源 一般財源	222,395	210,369	213,222	238,457
職員人件費　②	3,230	3,183	3,156	3,298
総事業費（①＋②）	255,297	248,092	254,002	273,825

２５年度事業費内訳

合計	250,846,126 円
需用費	65,802,754 円
役務費	884,141 円
委託料	180,360,000 円
使用料及び賃借料	3,799,231 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称：ウィングアリーナ刈谷等使用料

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名	体育館等施設管理事業	担当部	生涯学習部
一般会計		担当課	スポーツ課
款 10 / 項 6 / 目 3		担当係	業務係

PLAN（計画）

A 事業概要

項目		内容
総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放
目的		刈谷市内の体育施設（刈谷市体育館他7施設）の施設管理及び運営を指定管理者に行わせるなど効率的に行い、円滑な管理運営を図る。
主たる内容		・体育施設の管理、運営 ・体育施設の利用受付
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	地方自治法、刈谷市体育施設条例
対象者		施設利用者
事業期間		平成１９年度　～
実施方法		■直営　■委託　■指定管理　□補助・助成　□その他

DO（実施）

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
指定管理者及び直営による管理運営	指定管理者及び直営による管理運営	指定管理者及び直営による管理運営	指定管理者及び直営による管理運営

項目	内容
成果（できたこと）	指定管理を行っている施設の経費節減が図られた。
課題（できなかったこと）	指定管理以外の施設のより円滑な管理運営方法の検討

指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
指標					
指標					

他市との比較検証：

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	136,686	132,462	136,823	158,630
財源 特定財源	27,436	28,544	28,741	27,740
財源 一般財源	109,250	103,918	108,082	130,890
職員人件費　②	3,230	3,183	3,156	3,298
総事業費（①＋②）	139,916	135,645	139,979	161,928

２５年度事業費内訳

内訳	金額
合計	136,823,056 円
需用費	3,209,057 円
役務費	448,201 円
委託料	133,165,298 円
使用料及び賃借料	500 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

体育館使用料
刈谷球場使用料

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名			グラウンド等施設整備事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	6	3			

グラウンド等施設整備事業

PLAN（計画）

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放
目的		グラウンド施設の円滑な管理運営を図る。
主たる内容		・施設の修繕及び整備工事
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者		施設利用者他
事業期間		～
実施方法		■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他

DO（実施）

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
港町グラウンドスタンドベンチ足場板取替、双葉グラウンド防護マット取替、双葉グラウンド受電柱取替等補修、港町グラウンド駐車場区画線設置工事、双葉グラウンド器具庫新築工事	港町グラウンドスタンドベンチ足場板取替、住吉テニスコート補修、亀城公園運動広場ＣＤ面整備修繕、井ヶ谷グラウンド・小垣江グラウンド電気設備改修、双葉グラウンド防球ネット嵩上工事	港町グラウンドスタンドベンチ足場板取替、住吉テニスコート補修、小垣江グラウンド変圧器交換工事	港町グラウンドスタンドベンチ足場板取替、小垣江グラウンドクラブハウス補修、小垣江グラウンド内野整備修繕、小垣江グラウンド防球ネット張替修繕、小垣江グラウンド防護マット・ベンチ塗装修繕、亀城公園運動広場ＣＤ面内野整備修繕

成果（できたこと）	計画通り整備できた。
課題（できなかったこと）	

指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	6,155	13,814	8,237	15,157
財源 特定財源	0	0	0	0
財源 一般財源	6,155	13,814	8,237	15,157
職員人件費　②	718	1,768	1,753	1,832
総事業費（①＋②）	6,873	15,582	9,990	16,989

２５年度事業費内訳

合計	8,237,460 円
需用費	6,250,860 円
工事請負費	1,986,600 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

会計名			事業名	担当部	生涯学習部
一般会計			体育館施設整備事業	担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	業務係
10	6	3			

PLAN＜計画＞

A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放
目的	体育館等の施設の円滑な管理運営を図るため、随時必要な整備を行う。	
主たる内容	・設備の修繕及び整備工事	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	施設利用者他	
事業期間	平成２２年度　～	
実施方法	■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO＜実施＞

B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
外壁補修工事 バスケットボールゴール修繕工事 バスケットゴールライン引替 弓道場建具取付工事 弓道場3階換気工事 弓道場メッシュ日除け新設工事	吸水式冷温水発生機修繕 防水改修工事	リモートユニット取替修繕 非常用直流電源装置修繕 中央監視装置部品取替修繕 アリーナ照明ランプ取替修繕	国旗バトン巻上機修繕 看板バトン巻上機修繕 空調設備自動制御機器修繕 空調設備冷却水ポンプ等分解修繕 空調設備吸水式温水発生機オーバーホール アリーナ及び卓球場暗幕取替修繕 南入口庇防水修繕

成果（できたこと）	計画どおり整備した。
課題（できなかったこと）	老朽化が進んでいる施設のため計画的な整備が必要である。

指標名称（単位）		実績値			目標値	
		２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２８年度
指標						
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①		9,853	42,533	14,308	34,519
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	9,853	42,533	14,308	34,519
職員人件費　②		718	1,415	1,403	1,466
総事業費（①＋②）		10,571	43,948	15,711	35,985

２５年度事業費内訳

合計	14,308,350 円
需用費	11,991,000 円
工事請負費	2,317,350 円

建設事業		
全体事業費（単位：千円）	0	２５年度特定財源名称
２５年度迄の累積事業費	0	
２７年度以降の事業費見込	0	

会計名	刈谷球場施設整備事業		担当部	生涯学習部
一般会計			担当課	スポーツ課
款 10	項 6	目 3	担当係	業務係

PLAN＜計画＞ A 事業概要

総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放
目的	刈谷球場の円滑な管理運営を図る。	
主たる内容	・設備の修繕及び整備工事	
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	
対象者	施設利用者	
事業期間	～	
実施方法	■直営　■委託　□指定管理　□補助・助成　□その他	

DO＜実施＞ B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
漏水調査委託 内野スタンドベンチ取替工事	スコアボード改修工事 誘導灯更新工事 防鳥ネット設置工事	防水工事 フェンス等塗装工事 スピードガン更新工事	観客席一部修繕 スコアボード盤用照明修繕 電話設備更新工事 空調設備改修工事 外壁改修工事

成果（できたこと）	計画どおり整備をした。
課題（できなかったこと）	老朽化が進んでいる施設のため計画的な整備が必要である。

指標名称（単位）	実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
指標					
指標					

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円	２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①	893	4,232	27,762	41,017
財源 特定財源	0	0	0	0
財源 一般財源	893	4,232	27,762	41,017
職員人件費　②	718	1,415	1,403	1,466
総事業費（①＋②）	1,611	5,647	29,165	42,483

２５年度事業費内訳

合計	27,762,000 円
需用費	4,096,050 円
工事請負費	23,665,950 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称

平成２６年度　刈谷市事務事業評価シート　（様式１）

会計名			学校開放事務費事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	6	3			

学校開放事務費事業

PLAN（計画）　A 事業概要

項目		内容
総合計画施策体系	分野	教育文化
	基本施策	スポーツ
	施策の内容	スポーツ施設の整備・充実・開放
目的		学校教育に支障のない範囲で、小中学校の体育施設を地域住民のスポーツ活動の利用に供し、市民の健康の保持増進と体力の向上を図ることを目的とする。
主たる内容		各小中学校運営委員会にて利用申請受付と管理指導員を割当て、開放を実施する。又学校開放施設の補修を行う
位置づけ	関連計画	
	根拠法令	刈谷市市立小中学校などのスポーツ開放に関する規則
対象者		市民
事業期間		昭和５２年度　～
実施方法		■直営　□委託　□指定管理　□補助・助成　□その他

DO（実施）　B 事業実績

２３年度実績	２４年度実績	２５年度実績	２６年度計画
利用件数：　10,113件 利用人数：225,285人	利用件数：　10,051件 利用人数：231,360人	利用件数：　9,742件 利用人数：223,716人	利用件数：　10,000件 利用人数：230,000人

成果（できたこと）	市民の健康の保持増進と体力向上に寄与している。
課題（できなかったこと）	施設の利用率向上を図るためスポーツ開放の見直しを進める。

指標名称（単位）		実績値 ２３年度	実績値 ２４年度	実績値 ２５年度	目標値 ２６年度	目標値 ２８年度
活動指標	学校スポーツ開放登録人数（人）	12,944	12,277	11,020	12,000	―
指標						

他市との比較検証	

C 事業コスト

単位：千円		２３年度（決算）	２４年度（決算）	２５年度（決算）	２６年度（予算）
事業費　①		13,265	13,361	16,893	21,482
財源	特定財源	0	0	0	0
	一般財源	13,265	13,361	16,893	21,482
職員人件費　②		3,948	3,891	3,857	4,030
総事業費（①+②）		17,213	17,252	20,750	25,512

２５年度事業費内訳

費目	金額
合計	16,892,825 円
報償費	11,369,300 円
需用費	4,064,025 円
役務費	661,500 円
委託料	798,000 円

建設事業	
全体事業費（単位：千円）	0
２５年度迄の累積事業費	0
２７年度以降の事業費見込	0

２５年度特定財源名称